

緑の園



ヒルトップハイソ

デイサービスセンタ

だより



第86号

令和5年8月1日発行

Frontiers/Journey(1983)



いまいま新しい情報の 完成です。



昨年5月に着工した「特別養護者人ホーム丸瀬布と ルトップハイツ」ならびに「丸瀬布デイサービスセン ター」が竣工いたしました。

施設の概要は敷地面積が8,299.06㎡、延べ床面積

3,774.52㎡です。

それぞれの施設の 面積は1階のまるせ っぷ厚牛クリニック が1.083.32m。

同じく1階の丸瀬 布デイサービスセン



ターが295.64㎡、2階の特別養護老人ホーム丸瀬布 ヒルトップハイツが1,888.92㎡、3つの施設の共用 部分の面積は506.20㎡です。

構造は、鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階。 ヒルトップハイツの定員は54名(うち4名はショ ートステイ)居室は4人部屋が8室、3人部屋6室と



個室4室となって おります。

デイサービスの 利用定員は18名 です。

9月5日(火)か ら新しい生活が始 まります。



EBFTER BRET.



北海道では8月が七夕ですが、もとは中国の伝説 から生まれたそうです。

皆さんご存知のとおり、織姫と彦星のお話しです がそれぞれの星の名前は、織姫がこと座の「ベガ」 彦星がわし座の「アルタイル」です。

この二つの星は、はくちょう座の「デネブ」を 加えた「夏の大三角形」を構成する星なんですね。 今の時期この星座は見ることができます。

その七夕の行事を象 徴する「七夕飾り」。

施設に飾っている短 冊を拝見したところ、

「長生きできますよう に」、「元気で毎日笑 顔で暮らしましょー」 とか「健康でいたい」 そして「あんこ餅を食 べたい」中には「生ま れ変わったら〇〇さん (職員の名前)と一緒に なりたい」なんてお願 いもありました。





社会全体では新型コロナウイルスで失われた3年 前の水準に戻ったような明るい話題を多く耳にしま すが、私たちのような高齢者施設にとっては特段の 変化はありません。(次頁に続く)

新型コロナウイルス に感染して命を落とし たというニュースはほ とんど聞かなくなりま したが依然としてクラ スターの発生は耳にし ます。



施設の行事も自治会の皆さんと一緒の盛大な盆踊りなど、再開の見通しは全くたっていない現状です。

ご面会におきましても窓越し、Webでの面会に限られたままです。

まだまだ不自由なことが多くご迷惑をおかけいたしますがなにとぞご協力の程お願い申し上げます。



心温まるご客付ありが とうございます。



先月、特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ にご寄付を賜りましたのでご紹介いたしますとともに 心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

佐 伯 一 男 様 遠軽町丸瀬布水谷町





7月尼尼己人传己达加 药甲毒心症。

先月はヒルトップハ イツで26日に夏祭り を開催いたしました。

天候に恵まれすぎて しまい、施設内での開 催となりましたがすい かわりに興じたりかき



氷を食べたり夏を感じていただけたように思います。 今が暑い夏のピークです、楽しい夏の思い出がひと つできました。

デイサービスでは7月24日(月)から28日(金)までの間ジンギスカン会を開催し、舌鼓をうっておられました。



今月もどうだよろし<
お頭6161度します。

緑の園/グリーンプラザにおきましては先月の初旬まで調理室の改修工事のため臨時の調理室からの食事の提供となりましたこと、ご利用者様にはご不便、



ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びいたします。

皆様方のご協力に心から感謝いたしますとともにお礼 申し上げます。無事工事が完了しました。

さて、緑の園とグリーンプラザ合同で先月の10日に

「紙おむつ研修会」 を開催し効果的な排 泄介助の方法につい て株式会社リブドゥ コーポレーション認 知症ケア指導管理士 の本庄亜美様よりご



指導いただきました。この講義につきましては9月にも 開催する予定となっています。

また、20日には清里町の作業療法士 海下大輔様を お招きし職員の健康管理について特に腰通予防とその対 処方法についてを実技を通して、巧みな話術を交え1時 間余り教えていただきました。

私たちは日頃から介護を実践する者として何気なく業務に携わっておりますが、本来それらの技術は理論に基づいて展開されています。

「基本に忠実に」とはよく聞く言葉ですがその基本は 理論として積み重ねられ、実践されてきたものの集積で あることを改めて感じました。

私たちへの仕事への信頼は細かいことにまで気を配る 真摯さによって生まれてくるのでしょうし基本を雑に扱 うと周囲から敬遠され結局のところ自分に返ってくる。

お天道様はお見通しなんだと思います。

今月もどうぞよろしくお願いします。(おばら)